

# 今年もおいしい梅ができました

6月4日から、町内の梅園では南高梅（青梅）の収穫が始まりました。本町の梅農家は現在180戸、生産面積は約120ヘクタールで、そのうち160戸がエコファーマー（環境にやさしい農業者）の認証を受け減農薬栽培に取り組んでいます。今年は晩霜被害もなく、最終の収穫量は1,000トン近くまで増える見込みです。

市山貞篤さんの梅園でも収穫がおこなわれ、市山さんは「4月に朝晩が冷え込み、玉がやや小ぶりなのが残念。しかし収穫量も多く、品質はとても良い出来です。」と話されました。

なお完熟梅は、6月中旬から7月中旬ぐらいまで収穫される予定です。



▲収穫作業をおこなう市山貞篤さん

## 品質上々さつまの梅 消費者のもとへ！

### 青梅出荷式

6月5日、宮之城町佐志のJAさつま野菜集出荷所で青梅出荷式が開催されました。

当日は朝早くから収穫されたばかりの青梅が集出荷所に持ち込まれ、職員が忙しそうにエコ農産物の認証マークが貼られた10キロ箱に詰めていました。

出荷式で、市山正弘梅振興会長は「量的にも1,000トンに手が届くところまでできました。産地としても最低限の出荷量が確保でき、消費者にも認知してもらえと思っています。梅の品質は、日本一と自信を持っています。」とあいさつしました。

青梅の集荷は6月4日から約2週間おこなわれ、主に生協や農協系のスーパー、東京・大阪の市場に出荷されました。



▲出荷式でテープカットをおこなう関係者



▲箱詰される青梅